



No 2753

2015-2016年度

会 長 中元耕一郎

幹 事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗



担当：橋本委員

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 事務所 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

テ
ー
マ  世界へのプレゼントになろう
 Be a gift to the world
 世界へのプレゼントになろう

本日のプログラム

平成27年10月8日 第2754回

- ・会員卓話：石垣 洋介 君
「保護観察について」
- ・ソング：「我らの生業」

前回の報告（第2753例会）

開催日 平成27年10月1日(木)

点 鐘 (中元会長)

会長の時間 (中元会長)

来る10月8日(木)には、社会・青少年奉仕委員会が中心となって、「さくらんぼ」支援事業が行われます。この活動資金の一部はロータリー財団の地区補助金を利用する予定です。ここで、ロータリー財団のことを少しお話するとともに、今回の「さくらんぼ」支援事業の趣旨をお伝えしたいと思います。

国際ロータリーの6代目会長のアーチ・クランフは、ロータリー財団の父とも呼ばれています。彼は「ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と1917年アトランタ国際大会で提案しました。その数か月後、この新しく誕生した基金へ最初の寄付金、米貨26ドル50セントがミズーリ州カンザスシティロータリークラブから寄せられました。この基金が1928年に「ロータリー財団」と名付けられ、国際ロータリー内の新しい組織となり、現在のロータリー財団に発展していきました。

今回の「さくらんぼ」支援事業の活動資金の一部は、このロータリー財団の地区補助金を利用する予定です。地区補助金は橋爪正芳財団委員長および橋本社会・青少年奉仕委員長らが中心となり、綿密な申請書類を作成し地区へ提出、現在その承認を待っている状態です。有田市宮原町「なごみ」内にあるNPO「さくらんぼ」は、発達がゆっくりで個性的な児童・学童を支援する通所支援



テ
ー
マ  奉仕の理想車を走らせよう!!
 Let's drive your ideal car of the service!!

次回のお知らせ

平成27年10月15日 第2755回

- ・外部卓話：ボンピパック ダーラーさん
「私の国ラオスの紹介・米山奨学生の感想」
- ・ソング：「それでこそロータリー」

事業所であります。「さくらんぼ」は、彼らに集団での遊びや生活の楽しさを経験させ、人として豊かに成長し、発達していくことを助長する目的で運営されています。その中でも遊具や絵本は子ども達が遊びや学びへの心の扉を開くツールとして重要な役割を果たします。

ところが当クラブの調査の結果、「さくらんぼ」では遊具の使用頻度が非常に多く、絵本や三輪車等の遊具が慢性的に不足していることが判明し、2013年の中村年度に、第1回「さくらんぼ」支援事業を行うことになりました。しかし、年月の経過とともに三輪車や絵本などの劣化が進み、新たな支援の必要性が感じられる上に、今後「さくらんぼ」の更なる事業拡大も予定されており、遊具の寄贈は切実な課題であることを再認識しました。そこで、第2回「さくらんぼ」への支援事業を行うことになったのです。

本事業では、さまざまな遊具や絵本などを「さくらんぼ」に寄贈します。このことにより、こどもたちの遊びや学びの幅が広がり、発達支援の一助になると考えています。また、親子教室で新しい遊具を使ったり、絵本を読んだりすることで、親子が安心してより楽しい時間を過ごすこともでき、子供の成長を促すヒントを得る機会になるとも考えています。

発達がゆっくりで個性的な児童・学童が大人になる過程で、協調性や社会性を獲得し社会に順応するためには、できるだけ小さな頃からの支援が重要であります。また、地域社会もこのような個性のある子供や成人を温かい心を持って理解し、支える必要もあります。そのようなメッセージを今回も地方新聞社2社を通じて、地域の人々に伝えたいと考えています。

本プロジェクトは、発達がゆっくりで個性的な子供やその父兄に対する支援はもちろんのこと、より良い地域社会の形成を目指したものであり、非常に有意義なプロジェクトであると確信しております。そして、この非常に有意義なプロジェクトを継続することにより、子供たちと地域社会との

垣根が、少しずつ取り除かれて、最終的にはみんなが同じように集い、笑い、共に仲よく豊かに暮らせるよう活動して行きたいと希望しております。

今回の「さくらんぼ」支援事業は、以上の趣旨に基づき計画されたものです。会員の皆様、どうぞ本プロジェクトへの積極的な参加をよろしくお願い致します。

幹事報告

(上野山(栄)幹事)

◆来簡書類

- 国際ロータリー日本事務局より
- ・2015年10月のロータリーレート 1ドル=120円の連絡が入る
- 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より
- ・10月米山月間資料のご案内が届く(川村米山委員長へ)
- ・「奨学生レポート」と「カウンセラー所見」提出の案内(橋爪(誠)カウンセラーへ)
- 地区より
- ・地区内クラブ会長会議開催の案内が届く
10月10日(土)13:30～16:30 スターゲイトホテル
- ・IM2組 会長会議の案内が届く
10月2日(金)午後2時から 御坊商工会3階にて
- ・2015-2016 地区への出向のお願いについて文書が届く
- ・2016～2017年度 地区委員候補者募集について文書が届く
- the Rotarianが届く(回覧)
- 例会変更(後方掲示)

委員会報告

*米山奨学委員会(川村委員長)

井上修平君より米山記念奨学会に多額のご献金をいただきました。

*社会・青少年奉仕委員会(橋本委員長)

来週10/8(木)、「さくらんぼ」への遊具寄贈と児童とのふれあい事業を行います。

出席報告

(應地例会運営委員長)

本日の会員数27名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数22名

(出席規定免除会員9名)

84.62%

9/17 88.00%

MU:なし

ニコニコ箱の報告

(中村SAA)

中元君:朝晩の涼しさが気になるこの頃ですが、会員の皆様にはお風邪などをひかれませんよう御自愛ください。

上野山(栄)君:川村さん、本日の卓話楽しみです。勉強させていただきます。

川村君:児島さんのご好意で卓話を交代してもらいました。わがまま言ってすみません。

橋爪(誠)君:川村様、本日の卓話勉強させていただきます。防災士の資格、合格しました。

児島君:川村さん、久しぶりのご高説楽しみです。

橋爪(正)君:川村さん、卓話楽しみです。

嶋田(崇)君:川村さん、卓話楽しみです。

成川(守)君:川村さん、卓話楽しみです。

應地君:川村さん、卓話楽しみにしています。

松村君:川村さん、お元気そうでなりよりです。卓話よろしくをお願いします。

宮井君:川村さん、本日の卓話、楽しみにしています。

岩橋君:川村さん、卓話楽しみにしています。

上野山(英)君:川村さん、本日卓話楽しみです。

橋本君:川村さん、本日の卓話よろしくをお願いします。

石垣君:川村様、卓話楽しみにしています。

脇村君:川村さん、本日の卓話よろしくをお願いします。

上野山(捷)君:川村克人さま、本日の卓話楽しみにしています。

中村君:川村さん、本日の卓話勉強になります。よろしくをお願いします。

卓話

「ロータリー今昔物語」



会員

川村 克人 君

1「昔のロータリー」

私は岩橋さんのお誘いでロータリーに入会いたしました。すぐ一日父親デーがあり白浜までバスに乗り、児童たちにアメや菓子を配り、入場切符を渡し一日遊園地で遊んで来ました。費用を全部持って、まるまる一日を過ごすこの行為は私にとって初体験であり、感動的でした。「決議23-34」を読んでもみると、これは奉仕の哲学であり、理念であることを知りました。「アイサーブ」の意味もこの時知りました。奉仕の理想を掲げるロータリーに入会したことが誇りに思えた時でした。

入会の時「四つのテスト」を貰いました。会社運営をす

る上で「うそは言わない」というよき抑止力にしてみました。また営業はフェアプレーでいこうと気を引き締めたのも覚えています。まさに仕事の規範でした。

「コミュニケーション」も行き届いていました。まだEメールがありませんので、IM、地区会議も頻繁に開かれ、月信や地区委員長計画も立派な冊子で、全体の動きや思潮もよく分かりました。

「例会」がまた厳格でした。「入って学び、出でて奉仕せよ」で、例会で会長メッセージや卓話を聞いて、奉仕の糸口シーズやニーズを探せ。そして出でて奉仕するという思想です。例会さぼって、なにが奉仕かという考え方でした。従って、奉仕は自らの実践であり、「汗を流す」ことに意義ありでした。

これが昔のロータリーであり、哲学と理念の筋の通った魅力的なロータリー活動でした。

2「決議23-34の変遷」

1. モットー

2010年モットーは「They」から「one」に変更になりました。「One profits most who serves best」です。

2. 決議23-34

2007年エド・フタ事務総長とビルサージェント元副会長の提案で一度「R章典及び手続要覧から抹消」という大事件があり、日本は沸き立ちました。これはしかし2010年ビチャイ・ラタクル元会長の提案で「R章典及び手続要覧に掲載。以前の決議は無効」となり、一件落着となりました。

3「21世紀の活動改革」

私は次の四つが顕著な活動改革と思っております。

1. 組織改革

2002年DLP、2004年CLPが提唱されました。DLPではガバナー補佐制度が布かれ、標準的地区委員会や指導者の継続育成が強調されました。

2. 青少年奉仕活動の新設

新世代の育成が強調され、今までの4大奉仕が5大奉仕になりました。

3. 公共イメージの向上

ロータリー活動を知る世間の人々がまるでいないことが日本でも欧米でもわかりました。愕然としたRIは、補助金を拠出してロータリー活動の積極的広報を奨励しております。

4. 教育制度の標準化

RLIを教育制度として世界統一を提唱しております。これはリーダー育成に効果的であり受講をお勧めします。

4「21世紀の体質変貌」

21世紀には、運用の考え方や方向も変貌しています。

1情報のウェブ化

ロータリー情報(月信、地区方針等)は全て文書からウェブに変わりました。パソコンを利用する人としらない人の「情報格差」は大きく、高齢層は情報が殆ど入らない状況に落ちています。

2. Eクラブの増加

顔と顔を突き合わせて、集団討議し、親睦と信頼を高

める機会が消滅傾向にあります。

3. 出席から参加へ

国際会議でジョンヒューコ事務総長が支援の提案をしました。「重要なのは出席ではなく参加です」と柔軟性のあるクラブ運営を提案しています。

4. 中期戦略化

ジョンヒューコ事務総長は次のことも言っています。「私たちに道はジグザグに進んでいくような余裕はありません。詳細かつ長期的な戦略計画に基づく目標をめざして活動します」単年度方式から継続プログラムへの変革です。

5. 失われた5年間

我々はガバナー騒動で空白の5年を過ごしました。ガバナーや補佐、地区委員など執行部と打ち解けた歓談の場を失い、自分達が「意義・理念・奉仕哲学を論じあう勉強の雰囲気も希薄になった気がしています。

5「何を守り通すべきか」

私たちは、100年間保持して来た道は守り続けたいと思います。

1. ロータリー哲学

第一モットー「超我の奉仕」、第二モットー「最もよく奉仕する者最も多く報いられる」、決議23-34「奉仕の理念と哲学」

2. 職業奉仕

職業倫理と「四つのテスト」

以上は時代が変わっても、我々は永遠に持ち続けたいものです。

6「何を工夫・フォローすべきか」

1. 情報交流

活字文書とは決別して、ウェブの活用が絶対となりました。全クラブ員はインターネットによる相互コミュニケーションが出来る様になり、地区やクラブのホームページが完読できるようにならなければなりません。

2. 例会参画

Eクラブは益々増加します。例会は減少しましょう。我々はこれを認容せねばなりません。ウェブによる例会出席を日常的活動として活用し、ウェブによる例会出席に慣れることが肝要です。

3. 長期計画

クラブ全体で練り上げた「中期計画」の戦略設定が必要です。

4. 失われた5年間の回復

RIや地区にどしどし出て行って、リーダーたちの持っている奉仕のノウハウを吸収するのも大事です。また他クラブとの交流も深め、地区委員会にも参画し、「源流の会」や「JRIC」などサークルへの参画も勧めます。

以上21世紀に入られた皆さまの積極・前向きな活動を切望いたします。